

## 北潟湖自然再生事業 全体構想 概要

## 目標

北潟湖の美しい環境を取り戻し、本来持つすばらしい自然を再生させ、さらに地域資源を再発見することにより、北潟湖と周辺地域において、自然と共生する豊かな地域づくりを皆の力をあわせて実現する。

## 課題

- 水環境の悪化：農漁業への影響、湧水の減少、土砂の流出、ヘドロの堆積、水の流れ・透明度の悪化、化学肥料・生活排水・生活物品の流入・漂着
- 生物多様性の劣化：魚類の産卵場所の減少、稚魚育成の減少、在来動植物の減少・消失、外来種の増加
- 湖の伝統文化・産業の保全と再生：湖で獲れたフナ等の食べる機会の減少
- 湖の新たな活用と地域経済への貢献：アクティビティ利用者の増加、認知度不足、不便なアクセス、地域住民のメリットの検討不在

## 北潟湖自然再生協議会

平成30年11月に組織化  
平成30年 3月時点で構成員数48  
個人(専門家を含む)17、団体25、  
関係地方公共団体5、関係行政機関1

## 対象区域

北潟湖流域及びその周辺地域

## 取組

- 水質・塩分濃度の測定・情報共有、調査研究の推進・目標値の設定・監視に基づく管理方針の検討・実施、環境負荷低減・湖にやさしい農業の推進
- 水域ネットワークの構築、水辺移行帯の再生、ヨシ原の保全・再生・活用、湿地の保全対策、絶滅危惧種の保全・再生、清掃活動、自然環境調査・研究、外来種対策
- 魚道、産卵場所の整備、漁獲対象魚介類の資源管理と利用
- ツアーの企画と運営
- 環境教育(学習)活動の検討・プログラム作成・情報共有、観察会の実施

## 北潟湖における自然再生の活動方針(5つの柱と17の目標)

- 方針1：水環境の検討と管理の推進
  - 目標 1：誰もが泳ぎ遊びたくなる北潟湖の水環境
  - 目標 2：かつてのような、透明度の高い“美しい”と感じる水環境
  - 目標 3：カヌーで遊んでもおいや色が気にならない湖水
  - 目標 4：関係者の話し合い・合意に基づく水環境管理の仕組みづくりと継続
- 方針2：生物多様性の保全・再生
  - 目標 5：食物連鎖の頂点に君臨するオジロワシが舞う生態系の保全・再生
  - 目標 6：多様な生物を育む水辺移行帯の保全・再生
  - 目標 7：北潟湖と周辺に広がる谷津での絶滅危惧種の保全・再生
  - 目標 8：外来種に対する意識向上と積極的な駆除
- 方針3：湖の伝統文化・産業の保全・再生
  - 目標 9：北潟湖での漁業の継続
  - 目標 10：フナやコイ、シジミなどの魚介類の安定した漁獲
- 方針4：湖の新たな活用と地域経済への貢献
  - 目標 11：北潟湖と周辺地域が一体となったエコ・グリーンツアーの定例開催
  - 目標 12：新幹線駅・芦原温泉などと連携した北潟湖の観光地として利用
  - 目標 13：北潟湖国有林の利活用の推進
- 方針5：環境教育(学習)の推進
  - 目標 14：身近にある北潟湖の現状をよりよく深く理解
  - 目標 15：北潟湖周辺の全小中学生が北潟湖での環境教育(学習)活動の参加を経験
  - 目標 16：地域活動で北潟湖の自然・歴史・文化を活用した環境学習を実施
  - 目標 17：アクセスしやすい北潟湖に関する様々な情報の整備と維持



オグマサナエ



昭和30~40年代の北潟湖



目シガモ



チョウトンボ